



Heilo! from LONDON

15.Feb.2024 No.11

五味 公人



皆さん、お元気ですか？ 先日、犬山から届いた気象情報が「大雪警報」だったのに、驚きました。ロンドンには確かに寒いのですが、雪が積もることは滅多にありません。積もっても地表にうっすらと積もるだけです。ただし、太陽がずっと出ないので、それがなかなかとけません。少しとけたら凍って、そしてそれがまたとけての連続ですが…。今現在は積雪もなく、少し寒いだけです。そんな中、6年生は東部中学校の見学に行ったのですね。もうそんな季節なのか…。私が3年前と一緒にいった子たちは、今年受験生としてがんばっていることでしょう。彼らのことを遠い空の下、応援しています！



さて、今回の「ロンドン通信」も、思いつくままつれづれに書き進めていきます。そういえば、学校のチャイムの元って、知っていますか？ 実はあれはロンドンのシンボルでもある、ビッグベンの鐘の音が元なのです。確かに鳴っている音を聞くと、「キーンコーンコーン」というあのおなじみのメロディーが聞こえます。小さいころから自然に聞いていたのに、ビッグベンの鐘の音なんてことは知りませんでした。知らないうちに日本中ロンドンに慣れ親しんでいたのです。 **ロンドンオリピックスタジアムにて** →



先日、サッカーのアジアカップで日本が負けてしまいましたが、こちらイギリスでは、アジアカップのAの字も放送されていません。イギリス人は、アジアの大会の結果より、そこに参加しているプレミアリーグの選手が早く負けて、チームに帰ってくることに興味があります。つまり、日本が負けたおかげで、アーセナルの富安や、ブライトンの三苫リバプールの遠藤が、予定より早めに帰ってくることにの方が、価値があるのです。これがヨーロッパ選手権になると全く違って、ものすご〜い盛り上がりです。連日TVで放映され、パブも大賑わい！ 2021年のイングランド大会は、イングランドが決勝に残ったことで、尋常ではない盛り上がり方でした。時はまだコロナによるロックダウンがあけて4カ月弱でしたが、すでにイギリスでは、誰もが「アフターコロナ」でした。

← **毎日飲んでいますが、ロンドンの牛乳。単位に注目**



イギリスには、日本にない単位があります。例えばビールや牛乳の容積はパイント (pint、1パイントは0.568L) です。また、cmならぬ、cl (センチリットル) という単位もあります。例えばジュースなら、日本では350mLと表示されるのを、35clと表示されるのです。ミリは元の1000分の1、センチは元の100分の1ということですので、350mL=35cl (=0.35L) ということで合っています。しかし見慣れない単位なので、ついつい考え込んでしまいます。ちなみに、車の値段など大きな金額を表す時、例えば£2,000なら£2Kと表すときもあります。K=キロ…1,000倍ということです。これも見たことないですよ。

また、長さや面積、速度などは、フィートやマイルが使われています。速度制限の道路標識は、マイルです。たいていロンドンなどの都市部は20マイル制限なので、日本でいえば32キロ制限です。そこをロンドンでは、フェラーリやポルシェなどの高級車がのろのろ走っています。そんな時は、私の小さな安い車でも、同等に走れるのです！